

彩るホザキシモツケ

小田代原でホザキの花が見頃を迎え、訪れた人たちが、枝先に小さな花を密生させる。県日光自然博物館によると、今年例年同様、中旬に咲き始め、8月中旬ごろまで楽しめる。イブキトラノオやノモツケはバラ科で、枝先に小さ



奥日光・小田代原で見頃

アザミなども見頃という。19日の奥日光は朝から雨だったが、まばらに訪れる観光客は豊かな彩りに包まれた自然の中をゆったりと散策していた。

東京都国分寺市、会社員竹内将彦さん(64)は「20

年ほど前から毎年来ているが、いつ見てもかわいらしい花ですね」と話した。

(文・写真 増田康志朗)

見頃を迎えたホザキシモツケ 19日午前、日光市中宮祠

SOON
電子版に動画

「特定重要技術」 20分野から選定

政府指針案、開発資金拠出

5月に成立した経済安全保障推進法に基づき、政府が重点的に育成する「特定重要技術」の指針案が19日、分かった。人工知能(AI)

政府の重点育成が想定される 主な技術

- 人工知能(AI)
- 半導体
- バイオ技術
- 医療・公衆衛生
- 宇宙関連
- サイバーセキュリティなど
- 極超音速

※これらの中から選定し、研究者を公募する

や宇宙関連技術など約20分野から選定し、5千億円規模を見込む基金から研究開発のための資金を拠出する。ハイテク分野で中国が台頭する中、国力を左右する次世代技術への政府の関与を強め競争力を高める。

20分野は他に輸送に関する極超音速や半導体、バイオ、サイバーセキュリティなど。関係省庁や有識者が参加する会議が20分野から絞り込む。選定後、年内に研究者を公募する。研究者が守秘義務に違反すれば、1年以下の懲役または50万円以下の罰金を科す。政府はまた、中国などとの政治対立や感染症の流行などでサプライチェーン(供給網)が途絶した場合、国内産業や暮らしに打撃を与えかねない「特定重要物資」についても、安定確保に向けた指針案を策定。重要

官民連携の街づくりを

県住宅協、知事に初提言

ハウスメーカーなどをつくる県住宅協会(佐藤敦行会長)は19日、「街づくり施策に関する提言書」を福田富一知事に提出した。移住・定住促進など3項目を盛り込んだ。

提言では、空き家活用や都市部の住民へのPRでの連携、太陽光発電と蓄電池

づくりをしたい」、前会長の中津正修顧問は「県内の生活インフラは好条件。連携して首都圏から人を呼び込みたい」と話した。

福田知事は「地方創生と豊かな住生活の実現に向け、提言を生かしながら取り組みたい」と応じた。

(杵木澤良太)

福田知事(中央)に提言書を提出した県住宅協会の中津顧問(右)と佐藤会長11月19日午後、県庁



公立36校が休業

県内11、15日、前週の倍 県教委は19日、新型コロナウイルス感染症の影響で学校や学年、学級単位で休業の措置を取った県内公立学校は先週5日間(11、15日)で延べ36校だったと発表した。18校だった前週(4、8日)に比べ2倍に増えた。

内訳は小学校28校、高校6校、中学校、特別支援学校各1校で、学級休業33件、学年休業7件、学校休業1件だった。1月以降では延べ1743校(小学校1286校、中学校298校、高校121校、特別支援学校38校)となった。